

# 生ごみネットだより

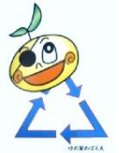
NO 31号 2015年 12月

発行 仙台生ごみリサイクルネットワーク

〒983-0851

仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地  
(みやぎNPOプラザ内)

<http://namagominet.web.fc2.com/index.html>



## 仙台生ごみリサイクルネットワークの方向性と課題について

事務局長 徳田 実(090-2999-8008)

生ごみネットも平成11年に発足して16年になりました。その間、過去の環境NGOとは違い、行政とパートナーシップを持ち、互いの良さを発揮するという基本的なスタンスで活動してきました。また市議会に対しても生ごみネット独自の「要望書」を提出し少なからず市政に反映されてるようになっています。今後の方向性としては「生ごみゼロ」を目標に仙台市に適した方法を提案し行政や他の市民団体、町内会、その他と連携して実践していきたいと思っています。

会員の皆様は日々「生ごみゼロ」を実践しているのでおわかりと思いますが「生ごみ」がなくなれば他のごみの資源化が簡単に出来ます。我が家では多い時で「家庭ごみ」と「プラゴミ」が月1回の排出です。「生ごみ」をコンポスターと木枠で堆肥化していますが毎月楽しくリサイクルしています。自分としては1坪程度の土の部分があれば屋外型が一番楽だと思います。季節によって刈り草や落葉もいっしょに堆肥にできますし、土が良くなると「ミミズ」が大量に発生し、「堆肥化」を速めてくれます。このように自分で成功していることをどんどん広めていきたいです。

さて話はかわりますが市内各地で始まっている「落葉の堆肥化」も8年目になりました。秋から冬にかけて大量に発生する落ち葉をなんとか堆肥にしたいですね。原発事故後、宮城県では基本的に落ち葉を堆肥化できないことになっていますが、当会では独自に行政と交渉して条件付きですが許可を得て実施しています。なんとかこの運動も仙台市全体に広げてそして全世界に発信していきたいです。

このように夢は大きいほうが良いのです。ところで夢ばかりみてはいられないのです。生ごみネットも高齢化が進んできて、毎年活動をして下さる方が減ってきました。どうしても次世代の行動できる会員を増やさなくてはなりません。この問題が会の最大の課題です。ここ数年実施していない「生ごみリサイクル養成講座」や大学生、企業との意見交換会などを来年は開催したいと思っています。その他会員各位におきましては何かアイデアがありましたら徳田まで連絡いただきたいと思います。

では良いお年をお迎えください。

**新年会が下記の日程で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております！**

日時:平成28年1月16日(土) 午後5時から開催

場所:『御酒印船 仙台店』 仙台駅前 青葉通り駅徒歩1分。Tel 225-6868

仙台市青葉区中央3-1-24 荘銀ビル B1F

“旬の海産物・仙台牛・牛タン・地酒と鍋のお店”

会費:4,000円

◎申し込み先 牧野(090-5184-2472) 八島(090-7079-6379)

参加出来る方は平成28年1月8日までに連絡をお願いします。



# 落ち葉の季節、各場所で堆肥化はじまりました！

- 1) 長命ヶ丘6丁目公園 (日下部)
- 2) 松陵i・2丁目町内会公園愛護協会 (日下部)
- 3) 中山市民センター作業開始 (牧野)
- 4) 西勝山町内会 (川平北公園) 作業開始 (牧野)
- 5) 貝ヶ森中町町内会 (貝ヶ森1号公園) 作業開始 (牧野)
- 6) ひより台東部西部町内会 (御堂平) (徳田)
- 7) 徳田工務店 (徳田)



中山市民センターの作業  
11月15日スタート

検査項目	落葉堆肥	杜のめぐみ
放射能	163 ベクレル/kg (国の基準 400 ベクレル/kg)	—
全窒素	0.94%	1.9%
りん酸	1.8%	2.1%
カリ	0.84%	0.8%
炭素窒素比	11	12

中山市民センターの館長が、昨年作った腐葉土を検査機関に提出し、有料で測ってもらった表です。

## 「保育園・幼稚園での給食残さの堆肥化進む」

篠原富雄

昨年始めたこの取り組みですが、このプロジェクトの中心を担っていた MELON の事務局より外れ、4月早々腰痛を患い動けなくなったことで取り組みがとん挫してしまいました。しかし、6月に開催した交流会に参加した園3か所で新しく開始しました。「せんだんの森こども園」「南光台北保育所」「卸町光の子保育園」です。年を超えてあと1か所開始する予定です。それぞれ、牧野さん、山岸さん、斉藤さんにお手伝いいただきました。



南光台北保育所でのペープサート(10月13日)



2500のコンポスター7基で卸町光の子保育園  
(11月27日)

## 評議委員会開かれる

10月15日に生ごみネット始まって以来はじめての評議委員会がサポセンの研修室で開かれた。参加者は現役員9名と評議委員3名であった。

生ごみネットには評議委員会という組織がありながら、今まで1度も開かれてなかったことであった。評議会はより広い視野から様々な意見を聞くために設けられています。

たとえば、毎年の総会で1年の活動方針を立てますが、果たして今の役員だけの意見でよいのかという事がたまたま問題になります。また、仙台市に協力して、実践講座や、出前講座を取り組んできました。しかし、10年以上これらを実践してきて仙台市の全体の生ごみはさほど減りません。これらの運動を通して考えさせられ気づいたことは、生ごみは、臭い、汚い、気持ち悪いの3Kであり、特に若い人たちには嫌われます。また、集合住宅に住む人は実行する場所があまりありません。また、学生や、家族と別れた転勤族なども仙台に多く、この人たちはほとんど生ごみリサイクルに関心がありません。

生ごみネットで活躍している人や、講座で生ごみリサイクルに関心を持っている人の多くは、家庭菜園をやっており、堆肥を利用している人達です。私たちの活動も、実践講座や、出前講座のほかに、落葉の堆肥化、家庭菜園教室、保育園などの生ごみリサイクル指導、野菜畑の指導などへと手をのばしております。

これらの問題を提起して参加者の意見を求めた。これらの中で、生ごみは臭い、汚い、気持ち悪いの3Kであり、この名前だけで好感はもたれないだろうから「仙台生ごみネット」という名前はそのままにして、別に愛称を作ったらと言う意見が出た。会の名前については、2年前の忘年会で一度会の名前を変えたらという話題が出たことがあったが、その後消えてしまった。たとえば、みやぎ生協の市民活動団体はメロンという愛称で、広く普及しています。皆さんも、よい愛称を一つ考えて下さい。この件については、例会で、募集要項を作って広く会員に意見を求めたいと考えています。

平成27年11月20日

会長 山内文男